

HINODE

当社では、メータボックスなどの給水装置用ボックスから仕切弁ボックス・消火栓ボックスなどのバルブボックスまで、幅広い品揃えでお客様のニーズにお応えします。

メータボックス

「軽くて、強い」従来の基本性能はそのままに、蓋と本体のカラーを一新しました。ノーマルタイプから防寒性能をプラスした防寒タイプまで、豊富なバリエーション展開で用途に合わせた最適製品を提供します。



仕切弁ボックス

嵩上げ・嵩下げ自在型で、作業性のよいストレートタイプです。鉄蓋は、基礎調整部施工、レジンコンクリート製下樹との組み合わせが可能です。



消火栓ボックス

食い込み力を適切に制御し、「開けやすさ」と「ガタツキ防止」を両立しました。鉄蓋は、基礎調整部施工、レジンコンクリート製下樹との組み合わせが可能です。



日之出水道機器株式会社

本社 福岡市博多区堅粕5-8-18(ヒノデビルディング) TEL(092)476-0777
東京本社 東京都港区赤坂3-10-6(ヒノデビル) TEL(03)3585-0418
東北第2営業所 仙台市若林区卸町3-2-2 TEL(022)782-6571



「お兄ちゃんと水遊び」

復興・再生に組合員の力を結集しよう

主な記事



平成28年度通常総会を開催
平成28年度通常総会表彰式を開催
平成28年度通常総会懇親会を開催
熊本地震被災地に水道施設応急復旧班を派遣

今月の表紙

お兄ちゃんと水遊び

小河 楽さん
(仙台市立台原小学校 2年生)

平成28年度の“みやかん”の表紙には、「2015仙台市下水道フェア児童・生徒絵画コンクール入賞作品」の優秀作品を掲載しています。(学校及び学年は受賞時)

仙台市下水道フェアは、展示、実演、発表、体験などを通して、楽しみながら下水道と水環境について広く市民に知ってもらい、また考えてもらうイベントとして、仙台市下水道フェア実行委員会主催のもとで、平成5年から開催されており、その中で、市内の小・中学生を対象に「水」をテーマとした絵画コンクールが行われています。

表紙絵画・資料提供
仙台市建設局

お詫びと訂正

平成28年若草号「今月の表紙」の作者名に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに下記のとおり訂正させていただきます。

(正) 中出 鳳雅 (誤) 中出 鳳雅

目次

- ・平成28年度通常総会を開催…………… P 1
- ・平成28年度通常総会表彰式を開催…………… P 3
- ・平成28年度通常総会懇親会を開催…………… P 4
- ・熊本地震被災地に水道施設応急復旧班を派遣…………… P 5
- ・平成28年度組合近況報告会を開催…………… P 7
- ・宮城県管工事業協同組合連合会平成28年度通常総会開催…………… P 8
- ・日水協東北地方支部幹事都市管理者と全管連東北ブロック各県支部長との意見交換会開催… P 10
- ・青年部コーナー…………… P 14
- ・お知らせ「地域建設産業活性化支援事業」…………… P 15
- ・仙台と言えば…「秋保温泉」…………… P 17
- ・PUMくんのこれ知ってる?…………… P 18
- ・組合のうごき…………… P 19
- ・組合員のうごき…………… P 23
- ・理事(役員)会報告…………… P 25
- ・国税だより…………… P 31
- ・健康だより…………… P 33
- ・広瀬川に架かる橋を訪ねて…………… P 34
- ・諺・漢字コーナー…………… P 35
- ・編集歳時記…………… P 36



ブライダル
ご予約・お問合せ
(サロンド マリアージュ)
tel.022-216-5220



RISTORANTE PADRINO DEL SHOZAN
ご予約・お問合せ
tel.022-222-7834



日本料理 **醇泉**
JUNSEN
ご予約・お問合せ
tel.022-213-9155



ご宴会・ご法事
ご予約・お問合せ
tel.022-213-9188



手作り無添加ソーセージ
お問合せ(食品販売部)
tel.022-225-4837



仙台伊澤家
勝山酒造株式会社
お問合せ
tel.022-348-2611

〈300年以上仙台を代表する純米酒蔵の迎賓館〉
〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-1-50 <http://www.shozokan.com/>
tel.022-213-9188 fax.022-213-9546

社の都のおもてなしどころ
仙台 勝山館

平成28年度通常総会を開催 ～第43期理事長に渡辺皓氏が再選～

5月20日(金)、仙台市青葉区の勝山館「彩雲」において、平成28年度通常総会を開催したところ、組合員114名（委任状35名、書面議決24名を含む）が出席した。

午後1時30分、司会の千葉総務課長から、出席組合員数が法定数を満たし、総会が適法に成立していることが報告され、渡辺理事長から次のような挨拶があった。

「先月、熊本地方において大地震が発生し、多くの尊い命が失われ、また、未だ避難生活を強いられている方々が多数おられることに、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。東日本大震災を経験した身としては、あの時の記憶が鮮明によみがえり、大変辛い気持ちになった。皆さんも同じ気持ちだったことと思う。私ども宮管組合は、仙台市水道局から被災地の水道施設復旧にあたる応急復旧班出動の要請があったため、組合員4社の協力を得て、合計24名を現地へ派遣した。快く承引頂いた組合員企業の皆様には心より御礼を申し上げます。

また、全管連から熊本地震被災地に対する義援金の協力依頼があり、過日、組合員の皆様に義援金を募集させて頂いたところ、100万円を超える義援金をお寄せ頂いた。早速、被災地に贈らせて頂く。

さて、平成27年度事業については、組合員皆様のご協力とご尽力のお陰で当初の計画どおり実行で

き、決算においては予算を上回る成績を上げることができた。その結果、出資配当金、利用分量割り戻しを実施させて頂くこととなったことに、心から感謝申し上げます。」

続いて、総会の議長に(有)内海工業所の内海透氏（当組合副理事長）、副議長に日新設備(株)仙台支店の山家吉治氏が就任して議案の審議に入り、セーフティネット基金の創設等を含め、第1号議案から第6号議案まで全て原案どおり可決した。



多くの組合員の方々に出席頂きました

第7号議案の役員改選では連記式無記名投票による選挙を実施し、当選した理事14名（員外理事2名含む）と監事3名は、その場で就任を承諾した。

なお、理事選挙後に臨時理事会を開催し、第43期理事長に渡辺皓氏（中央管工業(株)）が再選された外、別記のとおりそれぞれ決定した。

議案項目は次のとおり。

- 第1号議案 平成27年度事業報告書並びに財産目録・貸借対照表・損益計算書・収支決算書及び剰余金処分案承認の件
 第2号議案 平成28年度事業計画書並びに収支予算書案決定の件
 第3号議案 役員報酬決定の件
 第4号議案 経費の賦課及び徴収方法決定の件
 第5号議案 平成28年度組合新規加入者の加入金決定の件
 第6号議案 平成28年度借入金最高限度額決定の件
 第7号議案 役員改選の件

第43期役員（敬称略）

理事長	渡 辺	皓（再任）	中央管工業 株式会社
副理事長	内 海	透（再任）	有限会社 内海工業所
同	佐 竹	毅 彦（再任）	株式会社 金華工業商会
専務理事	藤 井	秀 男（再任）	宮城県管工業協同組合
常務理事	吉 田	秀 之（再任）	宮城県管工業協同組合
理 事	外 山	佳 嗣（再任）	仙台ガス水道工業 株式会社
同	菅 原	雅 美（再任）	株式会社 同和設備工業所
同	小 林	照 和（再任）	株式会社 興盛工業所
同	渡 辺	好 啓（再任）	渡辺建設工業 株式会社
同	井 上	環（再任）	井上設備工業 株式会社
同	赤 間	勇一郎（再任）	株式会社 赤間総業
同	松 岡	清 一（再任）	株式会社 松清産業
同	本 山	耕 三（再任）	本山振興 株式会社
同	小 野	修 司（新任）	全栄興業 株式会社
監 事	武 田	正 晃（再任）	株式会社 日幸商會
同	中 鉢	丹（再任）	株式会社 いづみ衛生施設工業
同	大 浦	明（新任）	株式会社 仙塩管工事センター
相 談 役	井 上	恭 司	井上設備工業 株式会社
同	手 戸	喜 郎	
同	蔵 田	博 之	

タフタイル管

日本鑄鉄管(株)特約販売店



株式会社 **エヌ・シー・ケイ** 東北営業所

代表取締役 **南 部 義 明**

(本 社) 〒136-0071 東京都江東区亀戸 1-11-3 電話 03(3684)5171(代) FAX03(3684)5130
 (東北営業所) 〒981-3215 仙台市泉区北中山 4-1-2 電話 022(379)4393(代) FAX022(379)4394

平成28年度通常総会表彰式を開催

5月20日(金)、勝山館「彩雲」において、通常総会表彰式が執り行われた。

午後5時20分、小島工事部次長の司会で開式し、表彰状と顕彰状、感謝状がそれぞれ授与された。各受賞者は次のとおり。(敬称略)

- ◎仙台市水道事業管理者より、指定給水装置工事優良事業者に表彰状の授与と記念品の贈呈

藤倉設備工業 株式会社
株式会社 タゼン
関兵施設工業 株式会社
有限会社 泰光住建



指定給水装置工事優良事業者表彰

- ◎仙台市水道事業管理者より、地元密着型水道修繕登録店に感謝状と記念品の贈呈

株式会社 E・S水道工事
株式会社 宮城日化サービス
藤倉設備工業 株式会社
株式会社 松清産業
エス・ケー・シー・リハウス 有限会社 スピリッツ



優良公認排水設備工事業者表彰

- ◎仙台市長より、優良公認排水設備工事業者に表彰状の授与と記念品の贈呈

有限会社 佐孝組

- ◎理事長より、業界功労者に対する顕彰状の授与と記念品の贈呈

平成27年度仙台市技能功労者表彰
遠 藤 豊 (住設工業 株式会社)

- ◎理事長より、平成27年度資材利用協力組合員に感謝状と記念品の贈呈

株式会社 日幸商會



業界功労者に対する顕彰

平成28年度通常総会懇親会を開催



仙台市 高橋水道事業管理者



仙台市 小高建設局次長



中央会 今野会長

5月20日(金)、勝山館「瑞雲」において、通常総会後の懇親会を開催した。

午後6時、千葉総務課長の司会で開会し、はじめに渡辺理事長から、「本日の総会において、宮管組合独自のセーフティネット基金を創設することに満場一致で賛同頂いた。また、来春は組合創立70周年を迎える。平成28年度は例年以上に繁忙を極めることになると思うが、一致団結して事業の推進を図って参るので、なお一層のご指導・ご協力をお願いしたい。」と挨拶があった。

次に、ご来賓を代表して高橋新悦仙台市水道事業管理者、仙台市建設局長（代理：小高陸次長）、宮城県中小企業団体中央会の今野敦之会長からご祝辞を頂戴した。続いて、長谷川洋一宮城県議会副議長と岡部恒司仙台市議会議長のお二方にご挨拶頂き、宮城県建設産業団体連合会会長（代理：河合正広理事）の乾杯の発声で祝宴に入った。

懇親会は終始和やかな雰囲気に入れられ、午後7時40分、藤井専務理事による中締めで盛会のうちに散会した。



仙台市議会岡部議長（左）、宮城県議会議長谷川副議長（右）



宮城県建産連 河合理事



和やかな懇親会となりました

この度の熊本地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

熊本地震被災地に水道施設応急復旧班を派遣

4月14日(木)午後9時26分頃に発生した熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震(前震)と16日(土)午前1時25分頃に発生した最大震度7の地震(本震)によって上下水道・電気・ガスなどのライフラインが甚大な被害を受け、熊本・大分・宮崎・福岡・長崎・佐賀・鹿児島7県で最大44万5千戸が断水した。



出発式の様子

度重なる余震の影響もあってライフラインの復旧に遅れが生じていることから、日本水道協会救援対策本部は、4月24日(日)に全国で38班の水道応急復旧班を要請し、その内2班の出動を要請された同協会東北地方支部の仙台市水道局から、当組合に対して応急復旧班(2班)出動の協力要請があった。

この要請に対して、「災害時における水道施設復旧等応援活動に関する要綱」(平成16年8月12日改訂版)に定める配水管部会(仙台市配水管工事業協会)で組織・渡辺毅浩会長)から、第1次隊として中央管工業(株)と渡辺建設工業

(株)、第2次隊として佐静建設(株)と(株)ユーワ技研が出動することとなった。先陣を切る第1次隊は渡辺毅浩氏(中央管工業(株))を団長とする12名で編成し、野宿覚悟でテントや寝袋、食料品等を準備し、またダンプ等の工作車両を急遽手配した。

4月26日(火)午前10時から仙台市水道局構内において第1次隊の出発式が行われ、はじめに高橋新悦仙台市水道事業管理者が「現地の情報が少なく、余震も続く中での復旧となるので、十分気を付けて作業を行ってほしい。また、気温が高く、雨も降っているようなので、健康管理にも留意してほしい。」と挨拶され、続いて、当組合の渡辺理事長から「二次災害の対策にも気を配りながら日頃培った技術力を遺憾なく発揮してほしい、全員無事で帰ってきてほしい。」と挨拶があった。次に、第1次隊を代表して仙台市水道局南配水課の高橋満主査が「東日本大震災の際の支援に対する感謝の意を



仙台市水道局を出発

込めて頑張っ参りたい。」と決意を表明し、熊本に向けて出発した。



フェリーの中でミーティング



約48時間かけて現地へ到着

連日、第1次隊から携帯電話で現地の様子や復旧作業の状況が伝わってくる中、佐藤健氏（佐静建設株）を団長とする第2次隊12名も装備品を整え、5月2日（月）に仙台港から出発した。

第1次隊、第2次隊ともフェリーと陸路を使い、仙台出発から約48時間かけて現地に入った。現地では、既に配水本管の修繕がほぼ終了していたことから、主に宅地内給水管の修繕工事を行うことになった。工事が終わると、「直してくれて、ありがとう！」と声をかけられたり、また「暑い中、ご苦労さまね！」と飲み物などの差し入れを頂いたりするなど、住民の方から大変感謝された。



復旧作業の様子（中央管工業株）



復旧作業の様子（渡辺建設工業株）



復旧作業の様子（株）ユーワ技研



復旧作業の様子（佐静建設株）

宮管組合近況報告会を開催

4月25日(月)午前11時から仙台市青葉区の「パレスへいあん」において、当組合の近況について報告会を開催し、役員OBと現職等31名が出席した。

今年で2回目となるこの報告会は、宮管組合の今日があるのは、諸先輩方が築かれてきた組合の基礎と歴史があればこそであり、当日は懐かしい面々も顔を揃えた。

冒頭、渡辺理事長から挨拶があり、出席者の紹介が行われた後報告会に入り、平成27年度の決算状況を説明し、続いて新たに創設するセーフティネット基金の概要、来年度に予定している当組合の創立70周年記念の概要、同じく来年度に予定している全管連総会・全国大会(東北ブロック岩手県開催)等について報告された。

続いて食事会に移り、井上恭司相談役から乾杯の発声を頂き、食事をしながら和やかに歓談した。なお、当日の出席者は下記のとおり。(順不同・敬称略)



決算状況等が報告されました

井上 恭司	相談役 (井上設備工業株)	渡辺 皓	理事長 (中央管工業株)
手戸 喜郎	相談役	内海 透	副理事長 (有内海工業所)
蔵田 博之	相談役	佐竹 毅彦	副理事長 (株金華工業商会)
渡辺 茂	元副理事長	藤井 秀男	専務理事
大泉 敏男	元副理事長 (株北栄工業所)	吉田 秀之	常務理事
相澤十四男	元副理事長 (株相澤設備)	千葉 文雄	常務理事
佐藤 勉	元理事 (株細川設備工業所)	外山 佳嗣	理事 (仙台ガス水道工業株)
小倉 正典	元理事 (株仙塩管工事センター)	菅原 雅美	理事 (株同和設備工業所)
金子 正	元常務理事	小林 照和	理事 (株興盛工業所)
扇 功	元理事 (藤倉設備工業株)	渡辺 好啓	理事 (渡辺建設工業株)
松永 健	元理事	井上 環	理事 (井上設備工業株)
小野寺宏允	元理事 (本山振興株)	赤間勇一郎	理事 (株赤間総業)
		松岡 清一	理事 (株松清産業)
		本山 耕三	理事 (本山振興株)
		武田 正晃	監事 (株日幸商會)
		中野 秀夫	監事 (有丸安設備工業)
		中鉢 丹	監事 (株いづみ衛生施設工業)
		小川 憲昭	扇町本部長
		千葉 史規	総務課長

宮城県管工事業協同組合連合会平成28年度通常総会開催

5月27日(金)、気仙沼市のサンマリン気仙沼ホテル観洋において、宮城県管工事業協同組合連合会(略称:宮管連)の平成28年度通常総会が開催され、会員等27名が出席した。

午後3時30分、当組合(宮管連事務局)の千葉総務課長の司会で開会し、はじめに渡辺会長(当組合理事長)から、「あの震災から5年が経過したが、沿岸部の完全復興までには、まだまだ時間が必要な状況だと感じている。このような中、4月に熊本地震が発生した。日水協本部からの被災地水道施設の応急復旧班の出動要請を受けて、宮城県管工業協同組合と石巻広域管工事業協同組合には、それぞれ9日～11日間にわたる行程で現地の復旧作業に尽力頂いた。また、全管連から依頼のあった義援金については、会員皆様からの善意のご協力により、総額177万5千円という多額の義援金をお寄せ頂いた。この義援金は、早速全管連を通じて被災地に贈らせて頂く。会員皆様のご協力で改めて御礼を申し上げたい。」との挨拶があった。

続いて、出席会員の報告と来賓紹介が行われた後、渡辺会長が議長に就任して議案の審議に入った。議事では、宮管連の吉田専務理事(当組合常務理事)から各議案の提案説明がなされ、全て満場一致で原案どおり可決された。

第8号議案の役員改選の件は指名推選と決し、白石市管工事業協同組合の高橋理事長と気仙沼管工業協同組合の熊谷理事長、宮城県管工業協同組合の内海副理事長が選考委員を務め、理事11名、監事2名を選考、指名を受けた各氏は満場一致の賛同を得て、その場で就任を承諾した。



[議案項目]

- 第1号議案 平成27年度事業報告書並びに財産目録・貸借対照表・損益計算書・収支決算書及び剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 平成28年度事業計画書並びに収支予算書案決定の件
- 第3号議案 役員報酬決定の件
- 第4号議案 経費の賦課及び徴収方法決定の件
- 第5号議案 平成28年度新規加入者の加入手数料決定の件
- 第6号議案 平成28年度借入金最高限度額決定の件
- 第7号議案 定款一部変更の件
- 第8号議案 役員改選の件
- 第9号議案 字句の一部修正委任の件

[第12期役員]

- | | | | |
|-------|---------|----------|-----------------|
| 会 長 | 渡 辺 | 皓 氏 (再任) | 宮城県管工業協同組合理事長 |
| 副 会 長 | 星 | 進 氏 (再任) | 石巻広域管工事業協同組合理事長 |
| | 同 内 海 | 透 氏 (再任) | 宮城県管工業協同組合副理事長 |
| 専務理事 | 吉 田 秀 之 | 氏 (再任) | 宮城県管工業協同組合常務理事 |

理事 高橋 良夫 氏（再任）白石市管工事業協同組合理事長
 同 熊谷 功 氏（再任）気仙沼管工業協同組合理事長
 同 大友 和弘 氏（再任）多賀城市管工事業協同組合理事長
 同 佐竹 毅彦 氏（再任）宮城県管工業協同組合副理事長
 同 佐藤 政志 氏（再任）大崎市管工事業協同組合理事長
 同 千葉 信宏 氏（再任）登米市管工事業協同組合理事長
 同 佐藤 康浩 氏（新任）名取市管工事業協同組合理事長
 監事 今野 勝秀 氏（再任）石巻広域管工事業協同組合専務理事
 同 千坂 直人 氏（再任）大崎市管工事業協同組合副理事長

総会終了後、午後6時から表彰式と懇親会が行われ、会員及び来賓等50名が出席した。渡辺会長の挨拶の後、業界功労者に顕彰状、優良従業員に表彰状がそれぞれ授与された。

次いで、開催地を代表して、気仙沼管工業協同組合の熊谷理事長から歓迎の挨拶があり、続いて来賓を代表して、気仙沼市長（代理：赤川郁夫副市長）、日本水道協会東北地方支部長（代理：仙台市水道局 高橋修給水部長）、熊谷伸一気仙沼市議会議長から祝辞を頂いた後、日本水道協会宮城県支部長（代理：石巻地方広域水道企業団 佐々木徹事務局次長）の乾杯の発声で懇親会が開宴した。



気仙沼 熊谷理事長



赤川気仙沼副市長



仙台市水道局 高橋給水部長



熊谷気仙沼市議会議長

懇親会は和やかに歓談し、廿一田植踊保存会の皆さんによる「廿一田植踊」の余興が披露される等、大いに盛り上がった。午後8時20分、来年の総会開催地組合である登米市管工事業協同組合の千葉理事長による挨拶と三本締めで散会した。

当日の各表彰受賞者は次のとおり。（敬称略）

[業界功労者]

宮城県青年技能者表彰 伊藤 勇 磨 宮城県管工業協同組合（以下、宮管）
 仙台市技能功労者表彰 遠藤 豊 住設工業 株式会社（宮管）

[優良従業員]

小山 昌 浩 株式会社 澤井製作所（気仙沼管工業協同組合、以下：気仙沼）
 藤田 敏 則 株式会社 澤井製作所（気仙沼）
 梶原 芳 和 株式会社 三協住設（宮管）
 山本 榮 治 多賀城市管工事業協同組合
 福山 睦 男 ウエノ設備 株式会社（宮管）
 佐々木 康 彦 株式会社 村上瓦斯工業所（宮管）
 角川 忠 株式会社 三浦組（宮管）
 佐藤 直 樹 山元工業 株式会社（宮管）

日本水道協会東北地方支部幹事都市管理者と全国管工事業協同組合連合会東北ブロック各県支部長との意見交換会開催



高橋仙台市水道事業管理者から挨拶

4月15日(金)、仙台市宮城野区の「仙台ガーデンパレス」において、日本水道協会(略称:日水協)東北地方支部幹事都市管理者と全国管工事業協同組合連合会(略称:全管連)東北ブロック各県支部長との意見交換会が開催され、日水協東北地方支部より25名と全管連東北ブロックより24名が出席した。

午後4時、全管連東北ブロック事務局の千葉総務課長が開会を宣し、はじめに全管連の渡辺皓副会長(当組合理事長)から、次いで日水協東北地方支部長(仙台市長)に代わって高橋新悦仙台市水道事業管理者から挨拶があった。

その後、全管連東北ブロックから提出した各議題に対して、日水協東北地方支部から次のとおり見解が示された。

(1) 水道基幹管路等水道施設耐震化の現状と今後の取り組みについて

平成27年12月24日付で平成26年度水道事業における耐震化の状況が公表されました。

これによりますと、①基幹管路における耐震管及び耐震適合性のある管の状況 ②基幹管路の耐震化の状況 ③浄水施設の耐震化率 ④配水池の耐震化率の状況は下表のとおりです。

水道基幹管路等水道施設の耐震化率

	基幹管路		③浄水施設	④配水池
	①耐震適合率	②耐震化率	耐震化率	
青森県	47.8%	37.4%	21.8%	39.0%
岩手県	46.2%	20.7%	26.0%	36.3%
宮城県	46.5%	30.6%	8.6%	32.7%
秋田県	24.2%	16.5%	32.0%	41.4%
山形県	43.4%	30.1%	15.3%	42.3%
福島県	42.8%	15.3%	23.5%	31.1%
東北平均	40.5%	23.8%	19.4%	35.6%
全国平均	36.0%	22.5%	23.4%	49.7%

国の国土強靱化基本計画及び同アクションプラン2014では、水道施設について基幹管路の耐震適合率を平成34年度までに50%以上に引き上げる目標を掲げています。

厚生労働省としても水道事業者における耐震化の取り組みを支援するため「水道耐震化計画策定指針」を改定し、その普及に努めていくことと伺っております。

このような水道基幹管路等水道施設耐震化の現状と国の方針を踏まえて、東北管内の水道施設の耐震化が今後どのように進んでいくのかについてご教示頂きたく、宜しくお願い致します。

(1) に対する日水協の見解

東北地方の耐震化率は、基幹管路に関しては全国平均を上回っているものの、全国平均を下回る地域もみられる。また、浄水施設や配水池の耐震化率は、全国平均を下回っている状況である。

地震により浄水施設や基幹管路が被災すると甚大な被害を及ぼすことから、速やかに耐震化を進めていく必要があると考えている。

今後、各水道事業者では、施設の経年化により老朽施設や老朽管がますます増えていくため、計画的かつ効率的な更新が必要となる。また、主要な浄水場なども老朽化が進んでおり、震災の教訓を踏まえた適切な耐震化が求められている。

震災以降、復旧・復興に全力で取り組んできたが、水道システム全体の強靱化には、基幹構造物の耐震化と管路の更新・耐震化をバランスよく進めていく必要がある。このため、適切な維持管理や計画的な施設更新の実施により、ライフサイクルコストの減少と全体事業費の平準化を図るアセットマネジメントの取り組みを着実に進めていく必要があると考えている。

このように計画的な管路更新や耐震化を進めるためには、国や関係機関などに、耐震化に関する補助制度の更なる拡充を働きかけるとともに、新たな管路更新手法の検討や官民連携の強化を推進し、アセットマネジメントの考え方を踏まえて、計画的に更新事業や耐震化を進めていく必要があると考えている。

(2) 地元企業育成を視野に入れた発注について

水道関係業務を生業とする地元企業が日々工事や維持管理を担い、その中で若い人を雇用し、技術の継承に努め、世代を繋ぎながら水道事業体の信頼を得て地域に根付いて存続していく、このことが災害時に大きな力を発揮するのみならず、日常における住民の皆様にとっても非常に大切なことと思います。

そういう観点から、「将来にわたる公共工事の品質確保とその中長期的な担い手の確保」を目的として、品確法の改正をはじめとする担い手3法が施行されたものと考えております。

改正点はいずれも重要な項目ですが、その中でも地元の事情に明るい中小企業等による安定受注を目指した「地域における社会資本の維持管理に資する方式」が示されており、私たちの業界にとりましてもその運用に大きな期待を寄せているところです。様々な手法が考えられるところですが、地元企業の安定受注に向け具体的にどのようなお考えをお持ちなのか、水道事業体の皆様のご意見をお聞かせ頂きますようお願い致します。

(2) に対する日水協の見解

「地域における社会資本の維持管理に資する方式」については、「複数年契約」、「包括発注」、事業協同組合方式等の「共同受注」が挙げられる。

地元企業の安定受注に向け、各事業体の状況に応じて事業協同組合方式の「共同受注」を中心に様々な施策を講じていると認識している。また、担い手3法の成立により、水道事業においても、これまで以上に「複数年契約」や「共同受注」を導入する事業体が出てくる可能性があると考えている。

その一方で、維持管理等を含んだ「包括発注」については、水道事業体の状況により採用するケースが出てくる可能性はあるものの、維持管理上の難しい課題も含んでいることから、各事業体の判断に委ねられるものと考えている。



全管連東北ブロックから提出した議題の説明

なお、仙台市では、水道事業の企業会計上、可能な債務負担行為による「複数年契約」については、発注工事の平準化等のために数年前から管路工事で実施している。また、事業協同組合方式の「共同受注」については、修繕工事において24時間対応可能な宮城県管工業協同組合に通年で受注して頂き、正確で迅速な対応をして頂いているところである。これらの契約方式については、今後も同様の形態で継続していく予定である。

(3) 工事発注の平準化について

国土交通省から、平成26年度における工事の平準化に関する調査結果が示されましたが、仕事量が最大の月と最小の月の差は、民間工事が1.2倍なのに対し、国の工事は1.7倍程度、自治体では2.3倍にもなっていました。一方、昨年の調査では47都道府県のうち12団体が平準化の観点から、債務負担行為を活用しているとの回答を得ています。

言うまでもなく、年間を通して安定的に働くことができる環境が整備されると、人材、機材の効率的な活用が可能となり、それが業界で働く技術者・職人の処遇改善にも繋がり、その結果、若年労働者の入職や技術の継承が期待できるようになり、将来に向けた展望が開けてくるものと考えます。

逆に、一時期にまとまって発注されますと、地元企業が受注しきれず、仕事量に大きな波ができることで人的労働力の効率が低下し、結局体力を消耗していくということになります。

以上の点から、受注側の企業と致しましては工事発注の平準化を是非お願いしたいところですが、水道事業体としてはどのようにお考えなのか、ご見解をお聞かせ頂けるようお願い致します。

(3) に対する日水協の見解

昨年改正された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」において、発注者には品質の確保と担い手の育成・確保を目的とした工事の計画的な発注と適切な工期設定が求められている。また、国土交通省からは債務負担行為の積極的な活用により、発注・施工時期等の平準化に取り組むように通達が出されているところである。

仙台市では、平成22年度から複数年に跨って工事を発注する債務負担行為の活用を開始し、平成25年度からは限られた技術者数で管路更新事業のベースアップを図るため、発注ロットの大型化に取り組んでいるところである。

また、単年度工事については、前年度からの繰越工事が完了する時期を考慮して計画的に発注を行うなど、発注時期の平準化にも取り組んでいる。今後は、これらを適切に組み合わせながら安定した現場の稼働を確保し、管路の更新・耐震化事業の円滑な進捗を図りたいと考えている。

以上のとおり、全管連東北ブロックからの提出事項に対する日水協東北地方支部の見解等が示され、意見交換会を終了した。

なお、双方の出席者は次のとおり。

※出席者（順不同・敬称略）

日水協東北地方支部（◎地方支部長都市）

◎仙台市	水道事業管理者	高橋新悦
青森市	公営企業管理者企業局長	相馬政美
八戸圏域水道企業団	副企業長	古川勳
秋田市	上下水道事業管理者	高橋洋樹
能代市	都市整備部長	白山正人
盛岡市	上下水道事業管理者	平野耕一郎
滝沢市	上下水道部長	齋藤善則

山形市	上下水道事業管理者	長谷川 博 一
米沢市	上下水道部長	穴 戸 義 宣
石巻地方広域水道企業団	事務局長	佐々木 功 一
多賀城市	水道事業管理者	佐 藤 敏 夫
郡山市	水道事業管理者	小 野 利 信
福島市	水道事業管理者	富 田 光 長
青森市	企業局水道部総務課主幹	村 田 幸 久
秋田市	上下水道局総務課長	金 森 久 幸
山形市	上下水道部総務課係長	菅 原 真 宣
米沢市	上下水道部水道業務課長	鈴 木 隆 仁
◎仙台市	水道局次長兼総務部長	松 岡 嘉 朗
同	水道局次長	福 原 嘉 修
同	水道局給水部長	高 橋 剛 史
同	水道局浄水部長	桂 島 敦 史
同	水道局総務部参事兼総務課長	佐 藤 敦 史
同	水道局総務部総務課研修係長	千 枝 真 治
同	水道局総務部総務課研修係主任	齋 藤 誠 哉
同	水道局総務部総務課研修係主任	青 山 智 哉

全管連東北ブロック (◎ブロック代表)

◎宮城県管工事業協同組合連合会	会長	渡 辺 皓
同	副会長	星 進
同	副会長	内 海 透
同	理事	高 橋 良 夫
同	理事	大 友 和 弘
同	理事	佐 竹 毅 彦
同	理事	佐 藤 政 志
同	監事	今 野 勝 秀
同	監事	千 坂 直 人
青森県管工事業協同組合連合会	会長	北 向 幸 吉
同	副会長	小田切 博
岩手県管工事業協同組合連合会	会長	佐々木 英 樹
同	事務局長	鎌 田 豊 稔
秋田県管工事業協同組合連合会	理事長	高 橋 正 男
同	副理事長	高 宮 正 美
同	副理事長	斉 藤 誠 文
同	理事	本 多 秀 文
山形県管工事業協同組合連合会	会長	鹿 野 淳 一
同	専務理事	白 田 眞 人
福島県管工事業協同組合連合会	会長	松 原 文 司
同	副会長	曳 地 敏 幸
事務局 (宮城県管工業協同組合)	専務理事	藤 井 秀 男
同	常務理事	千 葉 文 雄
同	総務課長	千 葉 史 規

平成27年度卒業式を開催

卒業式実行委員長 神田 和隆（有明和設備工業）



郷古会長

3月19日(土)、仙台市青葉区のライブハウス「ケントス」において、宮管青年部卒業式が開催された。氏家利明氏（ミノワ設備工業(株)）、小林照和氏（株興盛工業所）、大浦明氏（株仙塩管工事センター）の3名の卒業に会員27名が集まった。ただ、非常に残念ながら小林氏は、インフルエンザの為、急遽欠席となった。

阿部一貴委員（三豊工業(株)）と佐藤大樹委員（佐孝組(有)）の司会で進行し、はじめに郷古孝雄会長（有藤英工業）の挨拶があり、続いて、会長から卒業証書が授与された後、扇俊介副会長（藤倉設備工業(株)）の乾杯の発声で開宴となった。

「キャデラック」によるバンド演奏で非常に盛り上がりを見せたのち、送辞・答辞が行われた。

「キャデラック」によるバンド演奏で非常に盛り上がりを見せたのち、送辞・答辞が行われた。

送辞では、佐藤敏昭会員（仙興設備(株)）から氏家氏に対して、青年部活動での愉快的思い出話と感謝の言葉があり、氏家氏の答辞では、青年部での思い出が語られ、後輩達へ期待を込めたエールが送られた。

続いて、大浦氏に対する渡辺啓一郎会員（渡辺建設工業(株)）の送辞は、青年部活動の中での感動の思い出話と感謝の言葉があり、大浦氏の答辞では、青年部の思い出と後輩達へのエールが述べられた。

その後、渡辺毅浩相談役（中央管工業(株)）より、お二人へ花束の贈呈が行われ、私、神田が万歳三唱で中締めをさせて頂き、恒例の会員によるハンドアーチの中、氏家氏・大浦氏の両名が退場し、散会となった。



氏家氏（右）へ佐藤会員からの送辞



大浦氏（右）へ渡辺会員からの送辞



中締めの万歳三唱

お知らせ

中小・中堅の建設企業及び建設関連企業のための専門家による経営相談・支援です。

地域建設産業 活性化支援事業

中小・中堅建設企業等が抱える経営上・技術上の課題に対し、専門家による幅広いアドバイスを行います。

担い手確保・育成や生産性向上に関するモデル性の高い取組に対しては、重点的な支援を行います。

生産性向上をテーマとしたオンライン講座を開催します。(下半期を予定)

相談支援 (1企業あたり必要に応じて2回まで)

まずエリア統括マネージャーが電話で課題のヒアリングを行います。貴社の課題解決に最適な活性化支援アドバイザーを決定し、貴社に派遣します。経営上、技術上の課題に親切・丁寧に対応します。

例 ・技能者の育成、工程管理の改善、新技術の開発、事業承継、建設業許可業種の追加、経営事項審査の評点アップ、工事原簿管理の充実化 etc

初回の相談は無料でご利用頂けます。(2回目の相談は自己負担額2,700円+届込手数料)

※エリア統括マネージャー コンサルティング業務を担当する専門家(全国を11ブロックに分割し各ブロックに配置)

※活性化支援アドバイザー 1級施工管理技士や建築監理技師等、若手技士、大手建設企業の現場・OJT技術者等といった工事現場におけるマネジメント経験が豊富な担い手確保・育成に係る幅広い知識の深い人材開発の専門家や、労務安全コンサルタント、中小企業診断士、税理士、公認会計士等の専門家

重点支援

担い手確保・育成や生産性向上に関するモデル性の高い取組に対しては、以下の2つの支援メニューを用意しています。

コンサルティング支援

エリア統括マネージャーを中心として、取組内容の特性に適した活性化支援アドバイザー等が支援チームを構成し、計画策定まで継続的に支援します。



または

ステップアップ支援

計画実行段階の経費の一部を支援します(上限300万円)。



例 ・異業種の企業が連携し、多業工を育成
・地域の複数の企業が連携し、合同で教育訓練の実施へ向けたプランを作成
・異業種の企業が連携し、新資材を開発
・地域の複数の企業が連携し、インフラメンテナンスに資する新技術を開発

建設企業等を中心とした複数(2社以上)から構成される「グループ(連携体)」が支援の対象となります。
(必要に応じて活性化支援アドバイザーがグループの結成をお手伝いします。)

※コンサルティング支援は、相談支援を受けた建設企業等の中から選定します。※ステップアップ支援は、公募により支援対象を募集します。数量制限は後記に示します。

オンライン講座

平成28年度後半に建設産業の生産性向上をテーマとしたオンライン講座を実施する予定です。

詳細はあつて右記のWebサイトにてご案内します。 <http://www.yoi-kensetsu.com/kassel/>

本事業のご利用対象

中小・中堅の建設企業及び建設関連企業

※中小・中堅とは、資本金20億円以下又は従業員数1,500人以下の企業(個人事業主又は法人)をいいます。

※建設関連企業とは、測量業、建設コンサルタント業、地質調査業を営んでいる企業をいいます。

なお、測量業にあつては測量法における測量業者であること、建設コンサルタント業及び地質調査業にあつては国土交通大臣の登録を受けていることが必要です。

お申込み詳細に
つきましては
頁面をご覧ください

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課

一般財団法人 建設業振興基金 (問い合わせ先 03-5473-4572)

FAX 03-5473-4594

受付窓口（一財）建設業振興基金 TEL 03-5473-4572

経営相談をご希望の方は、本申込書をご記入の上、FAXを送信ください。



平成28年度 地域建設産業活性化支援事業

経営相談申込書

平成 年 月 日

相談申込者	会社名	(フリガナ)					
	所在地	〒 -					
	ご担当者	役職・所属部署			氏名	(フリガナ)	
	申込み受付時に窓口より電話連絡いたしますので、日中にご連絡が取れる携帯番号などをご記入ください。						
携帯				TEL			
FAX				E-mail			
会社等概要	規模	資本金	千円	売上高	千円	従業員数	名
	業種	建設業	<input type="checkbox"/> 大規模許可 <input type="checkbox"/> 知事許可 <input type="checkbox"/> 許可なし		建設関連業	<input type="checkbox"/> 建設業登録事業者 <input type="checkbox"/> 建設コンサルタント登録事業者 <input type="checkbox"/> 地質調査業登録事業者	

1. ご相談内容

2. 重点支援の希望についてチェックマークを入れてください

特に希望しない コンサルティング支援を希望 ステップアップ支援を希望 グループ結成の支援を希望

3. 本事業を知った紹介元についてチェックマークを入れてください

金融機関 都道府県 建設業協会等 セミナー等 ホームページ 商工会等
中小企業診断士等（氏名） その他（紹介元）

4. 金融機関からのご紹介の場合には、下欄もご記入ください

① 紹介元の金融機関名	② 紹介元の支店名又は担当部署
※ 紹介元への相談申込者名の情報提供	※ 紹介元への相談内容等の情報提供
可・否	可・否

本事業利用についての重要事項説明

本事業を利用するにあたり、以下の事項についてご了承の上、お申込みください

1. 経営相談におけるアドバイスに際しては、相談申込者から必要な個人情報および企業情報等をお知らせします。
2. 当申込者のほかアドバイスに必要な個人および企業情報は、本事業の円滑な実行、改善のための分析に利用します。収集した情報については、個人や企業が特定される形で使用することはいたしません。
3. 本事業利用により、相談申込者に損害が生じても、国土交通省、(一財)建設業振興基金、活性化支援アドバイザー等の本事業関係者はその責任を一切負わないものとします。
4. 暴力団及び暴力団員と密接な関係を持つ者は申し込みできません。

活性化支援相談窓口一覧 <http://www.yoi-kenetau.com/kassei/>

(一財)建設業振興基金 建設業振興支援センター	TEL 03-5473-4572	FAX 03-5473-4594
国土交通省 北海道建設部 事業振興課建設部基課	011-709-2311	011-733-0295
国土交通省 東北地方整備局 建設部計画・建設課	052-225-2171	022-227-4459
国土交通省 関東地方整備局 建設部建設課・課	045-601-3101	046-600-1921
国土交通省 中部地方整備局 建設部計画・建設課	025-3735971	025-290-9746
国土交通省 中部地方整備局 建設部建設課	052-952-2572	052-953-2626
国土交通省 近畿地方整備局 建設部建設課・課	06-69251141	06-6942-3913
国土交通省 中国地方整備局 建設部計画・建設課	082-221-3231	082-511-8189
国土交通省 四国地方整備局 建設部計画・建設課	087-851-8051	087-811-2414
国土交通省 九州地方整備局 建設部建設課	092-471-6331	092-476-3511
内閣府 沖縄県庁事務局 総務部総務課企画・地方整備課	098-864-0321	098-861-2925

仙台と言えば… 「秋保温泉」

初夏の日差しと緑がまぶしい季節になりました。

今年の新春号で、「作並温泉」をご紹介しましたが、今回は、それと並んで有名な、“G7 仙台財務大臣・中央銀行総裁会議”（平成28年5月20日・21日）が行われた仙台市太白区の「秋保温泉」をご紹介します。

ちなみに、前述の会議は三重県志摩市で開催された“G7 伊勢志摩サミット”（平成28年5月26日・27日）の関係閣僚会合として、「秋保温泉」ホテル佐勘を主会場に開催されました。

□秋保の地名の由来

地元の方は、当たり前のように読んでしまう「あきう」ですが、知らない方には難しい読み方。

この秋保の由来は諸説がある。

- ①平安時代にこの地を治めていた「藤原秋保」という人物に由来。
- ②詩経・易経にある「百寿ノ秋ヲ保ツ」という長寿を意味する言葉に由来。
- ③秋保大滝は秋保の象徴であるが、アイヌ語では滝のことを「アボ」ということに由来。
- ④秋保の名は古くから知られ、「古今和歌集」や「新古今和歌集」等にも「秋保の里」と詠まれ秋の景色が特に優れていることに由来。

□場所

宮城県仙台市太白区秋保湯元。名取川とその流れに沿って通る二口街道沿いに、山々に囲まれて温泉街がある。

仙台市中心部のJR仙台駅から国道48号線（仙台西道路、愛子バイパス）経由で約17km、30分程度で着く温泉街という利便性もあって、宿泊のみならず日帰り温泉宿としても人気を博している。また、仙台のコンベンション地区としても機能している。

□歴史

古墳時代には既に温泉があったという説もあり、奥州最古の開湯場として知られている。

第29代欽明天皇（在位：531～539年）が皮膚病（天然痘）に罹り、治癒を祈祷すると、秋保の温泉を湯浴みすると良いと告げられたため、温泉水を都に運ばせて沐浴したところ、数日後には治癒したと伝えられている。この時の喜びを「おぼつかな 雲の上まで 見てしかな 鳥のみゆけば 跡かたもなし」（な鳥のみゆ＝名取の御湯）と詠まれ、それ以来、「名取の御湯」と呼ばれるようになり、「拾遺集」や「大和物語」等にも詠われ、また、皇室の御料温泉の一つとして「御湯」となり、日本三大御湯といわれるようになった。

平安時代から戦国時代にかけて、「秋保温泉」の湯守役が佐藤家（現在のホテル佐勘の先祖）で、藩政時代に伊達家藩主の御殿湯が整備され、その管理も佐藤家が行っていた。

源泉1つ、宿泊所も1つで、佐藤家だけが管理していたが、寛永2（1625）年に岩沼屋が、寛永7（1630）年頃に水戸屋が佐藤家とそれぞれ縁を結ぶ形で旅籠を設けると、武士や庶民の利用が活発になり、多くの人が訪れる湯治場となった。

□泉質・効能

ナトリウム・カルシウム-塩化物泉

リュウマチ、神経痛、創傷、皮膚病、貧血、婦人病

平成8年6月、宮城県支部が担当した全国管工事業協同組合連合会の通常総会・全国大会も、この「秋保温泉」を会場に開催しました。





「宮城県の由来」

明治4（1871）年の廃藩置県で「仙台藩」から「仙台県」となった翌年、「宮城県」が誕生しましたが、その由来をご存知でしょうか？

諸説ありますが、最も有力なのは、とても大事な場所という意味の「宮」の字と「多賀城」の「城」の字から「宮城」という地名が出来たという説です。

そのほか、朝廷が直接管理する建物や土地等を意味する「屯倉」が「ミヤキ」となり「ミヤギ」に変わったという説もあります。

・多賀城の起こり

奈良時代（710～793年）の日本は、中央政府である朝廷を中心とした国づくりが進められていましたが、東北地方には、それに反する蝦夷（えみし）と呼ばれる人々がいました。

蝦夷を支配するために、天平14（742）年に、陸奥国に行政や軍事の要となる、中央政府の出先機関「多賀城」を設けました。現在の多賀城市市川の辺りで、「遠の朝廷」とも言われた程、古代東北の政治や文化の中心的な場所だったようです。

また、「多賀城」近くの硯沢窯跡（現：宮城郡利府町）から、「多賀城」が置かれていたと考えられている頃に作られた須恵器に“宮城郡”（宮城郡の文字の初出）や“宮木”の文字が見られること等から、当時「多賀城」があった辺りは宮城郡と呼ばれていたと考えられています。

なお、15世紀頃、宮城郡の範囲は、仙台市の大部分、多賀城市、塩釜市、七ヶ浜町、松島町、利府町を含む広い地域に拡大していたそうです。

ちなみに、「宮城」を「きゅうじょう」と読むと、天皇がいる場所という意味になります。



時代に応える製品で

安心・安全な水を届けます。

GXソフト



充水機能付

NSバタ



町野式口金内蔵

ラクエア



水道用バルブから浄水装置まで



株式会社 清水合金製作所

仙台営業所 仙台市若林区河原町1-5-1 ハイソ河原町 TEL 022-217-1312 FAX 022-217-1320
本社(滋賀県彦根市)・札幌・青森・東京・新潟・名古屋・大阪・中四国・九州

組 合 の う ご き

- 3月1日(火)・労組JAM宮城県管工業協同組合ユニオンとの第1回団体交渉に藤井専務理事、吉田・千葉両常務理事外対応
- 3月2日(水)・70周年記念誌第1回編集委員会開催
- ①記念誌の表題(本のタイトル)について
 - ②発行時期について
 - ③製本サイズについて
 - ④作成部数及び配付先の目安について
 - ⑤見積発注先について
 - ⑥今後の作業工程について
 - ⑦その他
- 3月3日(木)・総務・厚生委員会開催
- ※報告事項
- ①平成27年度教育・研修及び福利厚生事業について
 - ・マイナンバー制度に関する研修会実施報告
 - ・給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会実施報告
 - ・宮管親善ゴルフコンペ実施報告
 - ・宮管親善ボウリング大会実施報告
 - ②平成27年度教育・研修及び福利厚生事業報告
- ※協議事項
- ①平成28年度教育・研修及び福利厚生事業計画(案)について
- ※その他
- ①次回委員会の開催について
- ・(株)宮城県管工事会館第5回役員会に内海副理事長外出席
 - ・仙台地区木造家屋等建築工事安全委員会並びに幹事会合同会議に藤井専務理事、小島工事部次長出席
- 3月4日(金)・広報委員会開催
- ※協議事項
- ①“みやかん”若草号の発刊について
 - ②“みやかん”平成27年度収支決算見込並びに平成28年度収支予算(案)について
 - ③組合ホームページリニューアルについて(継続審議事項)
- 3月7日(月)・売掛適正化委員会開催
- ①長期支払遅延組合員の現況について
- ・労組JAM宮城によるオルグ(巡回交渉)に藤井専務理事、吉田・千葉両常務理事外対応
- 3月8日(火)・平成27年度宮城県建設雇用改善推進委員会に渡辺理事長出席
- 3月10日(木)・3月度定例理事会開催
- ※報告事項
- ①庶務報告
 - ②共同事業実績報告
 - ③広報委員会報告

- ④総務・厚生委員会報告
- ⑤売掛適正化委員会報告
- ⑥70周年記念誌第1回編集委員会報告
- ⑦資材利用組合員謝恩企画実施報告
- ⑧組合員の脱退について
- ⑨職員人事について

※協議事項

- ①平成28年度通常総会提出予定議案等について
- ②(株)宮城県管工事会館との土地賃貸契約の更新について
- ③労組の2016春季要求に対する回答方針について
- ④セーフティネット基金について

※その他

- ①日水協東北地方支部幹事都市管理者と全管連東北ブロック各県支部長との意見交換会について
- ②宮管近況報告会の予定
- ③厚生科学審議会生活環境水道部会「水道事業の維持・向上に関する専門委員会」について

- ・宮城県立仙台高等技術専門校平成27年度修了証書授与式に内海副理事長出席
- ・東日本大震災関連シンポジウムに鈴木・関東両営業課長、菊地営業係長出席

3月17日(木)・労組JAM宮城県管工業協同組合ユニオンとの第2回団体交渉に藤井専務理事、吉田・千葉両常務理事外対応

- ・組合運営／実践セミナーに千葉総務課長出席

3月19日(土)・船橋征吾氏(山形県管工事業協同組合連合会相談役)の旭日双光章受章祝賀会に渡辺理事長出席

3月22日(火)・第1回厚生科学審議会生活環境水道部会「水道事業の維持・向上に関する専門委員会」に渡辺理事長出席

- ・資材委員会開催

※報告事項

- ①平成28年2月分迄の資材販売実績報告
- ②資材利用組合員謝恩企画実施報告

※協議事項

- ①宮管・管工事機材展示会について
- ②組合員の資材共同販売利用促進について

- ・仙台市個人情報セキュリティ研修に小島工事部次長出席

3月23日(水)・宮城県中小企業団体中央会第4回理事会に渡辺理事長出席

3月24日(木)・3月度臨時理事会開催

- ①労使交渉の結果について
- ②平成27年度決算予想と利益処分のシミュレーションについて
- ③東北配管工事業協同組合賛助会員加入について

- ・シンポジウム「東日本大震災から5年 企業のチカラ×東北の復興」に鈴木営業課長、佐藤・菊地両営業係長出席

3月28日(月)・東北管工事業厚生年金基金分散会に渡辺理事長外出席

- ・仙台市技能職団体連絡協議会平成27年度第2回理事会に千葉常務理事出席

3月29日(火)・平成27年度宮管連理事会に渡辺理事長外出席

3月31日(木)・決算棚卸し

4月1日(金)・人事発令

4月4日(月)・平成28年度新入社員研修に阿部翼職員、濱田真夢職員出席
～5日(火)

4月7日(木)・宮城県立仙台高等技術専門校平成28年度入学式に内海副理事長出席

4月9日(土)・櫻井勝雄氏(一般社団法人宮城県消防設備協会会長)黄綬褒章受章祝賀会に藤井専務理事出席

4月15日(金)・日水協東北地方支部幹事都市管理者と全管連東北ブロック各県支部長との意見交換会に渡辺理事長外出席

・新政策研究会政策セミナー 2016に吉田常務理事出席

4月18日(月)・組合創立69周年記念日

・宮城県建産連団体長及び事務局長合同会議に渡辺理事長、千葉常務理事出席

4月19日(火)・総務・厚生委員会開催

※報告事項

①平成27年度内の組合員のうごき(加入及び脱退)について

※協議事項

①平成28年度通常総会議案について

・平成27年度決算について(第1号議案関係)

・平成28年度予算案について(第2号議案関係)

・平成28年度賦課金について(第4号議案関係)

・平成28年度組合新規加入者の出資金及び加入金について(第5号議案関係)

②平成28年度通常総会役員改選に伴う選挙管理委員について

③平成28年度教育・研修及び福利厚生事業について

・宮城県管工業協同組合安全大会の実施について

・宮管連監査会に吉田常務理事出席

4月20日(水)・平成28年度資材仕入れ説明会に小林資材委員長、藤井専務理事、吉田常務理事外、メーカー等31名出席

4月21日(木)・4月度理事会開催

※報告事項

①庶務報告

②共同事業実績報告

③決算棚卸し(在庫)報告

④総務・厚生委員会報告

⑤資材委員会報告

⑥仙台市指定給水装置工事業者の新規指定並びに排水設備工事業者の新規承認について

⑦仙台市水道修繕受付センター業務委託(その2)の見積入札及び委託契約の締結について

⑧配水管及び給水装置修繕工事の見積入札及び工事請負契約の締結について

⑨平成28年度備蓄倉庫賃貸借契約の締結について

⑩組合員の脱退について

※協議事項

①平成27年度決算見込みについて(総会第1号議案関係)

- ②平成28年度収支予算案について（総会第2号議案関係）
- ③平成28年度通常総会提出議案内容について（総会第3号議案以降）
- ④その他

※その他

- ①日水協東北地方支部幹事都市管理者と全管連東北ブロック各県支部長との意見交換会報告
- ②平成28年度水道施設整備費に係る歩掛表（GX形管の掘削幅等）の改定について
- ③全管連第57回通常総会・全国大会（岩手大会）の諸準備状況について
- ④熊本地震について
- ⑤建設業における安全優良職長厚生労働大臣顕彰について

4月22日(金)・第4・四半期監査会開催

4月25日(月)・宮管組合近況報告会に渡辺理事長外、役員の内職とOB等31名出席

4月26日(火)・4月度臨時役員会開催

※報告事項

- ①第4・四半期監査報告
- ②嘱託員の雇用延長について

※協議事項

- ①平成28年度通常総会について
 - ・議案書の決定について
 - ・総会・表彰式・懇親会等について

※その他

- ①熊本地震被災地水道施設の応急復旧班派遣について
- ・熊本地震被災地応急復旧作業班の出発式に渡辺理事長外出席、第1次隊（12名）として組合員中央管工業(株)・渡辺建設工業(株)が出動

4月28日(木)・宮管連平成28年度役員会に渡辺理事長外出席

- ・日水協宮城県支部第60回総会に藤井専務理事出席

株式会社 **キッツ** の 給水装置用製品

- サドル付分水栓
- ボール止水栓
- 甲形止水栓
- 逆流防止弁
- 青銅製継手
- 水道用ポリエチレン管金属継手(KCJPジョイント)
- 塩ビ管用伸縮可とう式継手(ルークジョイント)
- フレキシブル継手
- 給水・給湯樹脂管用ワンタッチ継手(クリアロックS)
- メータユニット

日本で最初に ISO 9001 認証取得



■お問い合わせは

東北給装事務所

〒980-0811

仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル

☎022-224-5335 Fax 022-224-5336

ホームページ <http://www.kitz.co.jp>

アカギ式 配管支持金具



吊タン付



スリーブA



スリーブシール



配管支持金具の

株式会社 **アカギ**

仙台営業所 / 〒984-0002 仙台市若林区卸町東4-1-19 TEL 022-287-7311

本社 / 〒104-8251 東京都中央区新富1-19-2 TEL 03-3552-7331

支店・営業所 / 全国主要都市

組合員のうごき

○組合員所在地変更

三機工業 株式会社 東北支店 (No.54)

【平成27年11月24日付】

新住所 仙台市青葉区一番町2丁目8番10号

旧住所 仙台市青葉区一番町1丁目3番1号

○組合員代表者変更

東北ボーリング 株式会社 (No. 9)

【平成28年3月3日付】



新 代表取締役社長 熊谷 茂一

前 代表取締役社長 大友 秀夫

株式会社 宮城日化サービス (No.61)

【平成27年11月26日付】



新 代表取締役社長 伊東 史磨

前 代表取締役社長 伊東 正人

ダイダン 株式会社 東北支店 (No.15)

【平成28年4月1日付】



新 支店長 平間 浩

前 支店長 大張 秀夫

第一工業 株式会社 東北支店 (No.24)

【平成28年4月1日付】



新 支店長 立野 和広

前 支店長 鈴木 浅次

三機工業 株式会社 東北支店 (No.54)

【平成28年 4 月 1 日付】



新 執行役員支店長 太 田 伸 祐

前 執行役員支店長 宮 崎 和 夫

全栄興業 株式会社 (No.110)

【平成28年 4 月 1 日付】



新 代表取締役社長 小 野 修 司

前 取締役会長 小 野 繁 雄

The next quality. The next performance.

GENEX

For Earth. For Life
Kubota

株式会社クボタ パイプシステム事業部

NICHIEI INTEC

大ヒット
大反響!

日栄インテック株式会社 URL : www.nichieintec.jp
本社 〒116-0011 東京都荒川区西尾久7-57-8

日栄インテック 検索

国の指針に基づいた安全性と
施工性の規定に適合した商品です。

施工指針2014年版
に適合

振れ止めエースハンガー
配管用耐震補助金具

各種配管の振れ止め
最適な耐震補助金具ユニット

Da Reya (ダ レヤ アイキャッチ水栓)

Da Reyaアイキャッチ水栓の開発コンセプトは「親子の会話」です。
優れた製品デザイン、秀逸な発想による空間づくりは素晴らしいことです。
しかし、この水栓は「誰にでも発想できる既存の形」を題材とし、子供達が「自分にも発想できる」、
「自分も作ってみたい」、「中身はどうなっているの」と考えてもらうことを狙っています。
そこから親子の会話が弾めば、この製品を使って頂いたリニューアル工事は大成功なのだと思います。幼少期に、このDa Reyaを目にした子供が、20年後に世界に通用するデザイナー、
エンジニアになって欲しいという願いをこめて作りました。

●水と住まいの拠点

株式会社 **カクダイ** 仙台営業所
〒984-0015 仙台市若林区卸町2丁目4番14号
TEL (022) 239-8371 FAX (022) 239-8370
http://kakudai.jp

「果し状」と「壘」の
2種類の座金を
同梱しています。

711-039-13 手裏剣蛇口

理事（役員）会報告

－ 3 月度理事会－

1. 日 時 平成28年 3 月10日(木)15：00～17：00
2. 場 所 宮城県管工業協同組合 3階 研修室
3. 出席者 理 事 渡辺（皓）理事長・内海副理事長・佐竹副理事長・藤井専務理事
吉田常務理事・千葉常務理事・外山理事・菅原理事・小林理事
事務局 渡辺（好）理事・井上理事・赤間理事・松岡理事・本山理事 計14名
小川扇町本部長・白戸資材部次長・須藤総務部次長・小島工事部次長
千葉総務課長 計5名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

吉田常務理事より、組合の2月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川本部長より、資材と工事の各共同事業について、それぞれ2月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③広報委員会報告

外山広報委員長より、機関誌「みやかん」若草号の掲載予定記事、機関誌発行に係る平成27年度収支決算見込み、及び平成28年度収支予算案について審議した内容が報告され、一同了承した。

④総務・厚生委員会報告

菅原総務・厚生委員長より、所管する事業の平成27年度実施報告と、平成28年度事業計画に関する協議内容等が説明され、一同了承した。

⑤売掛適正化委員会報告

渡辺（好）売掛適正化委員長より、長期支払遅延組合員に関しての現況と今後の対応について説明され、一同了承した。

⑥70周年記念誌第1回編集委員会報告

渡辺委員長より、委員会での協議概要が報告された後、吉田常務理事より、「記念誌の表題について」・「発行時期について」・「製本サイズについて」・「作成部数及び配付先の目安について」・「見積発注先について」・「今後の作業工程について」の詳細が説明され、一同了承した。

⑦資材利用組合員謝恩企画実施報告

小林資材委員長より、2月27日(土)～28日(日)に実施した首題謝恩企画について、参加者数や費用等が報告され、一同了承した。

なお、この件について本山資材副委員長より、参加者から大変好評だった旨が付言された。

⑧組合員の脱退について

須藤総務部次長より、協和工業(株)より提出された自由脱退の予告書について報告され、一同了承した。

⑨職員人事について

藤井専務理事より、平成28年度人事として4月1日付け発令の7名について説明され、一同了承した。

※協議事項

①平成28年度通常総会提出予定議案等について

吉田常務理事より、5月20日(金)に開催する平成28年度通常総会等のスケジュールと、総会予定議案が説明され、一同了承した。

②(株)宮城県管工事会館との土地賃貸契約の更新について

須藤総務部次長より、(株)宮城県管工事会館と平成22年4月1日に締結した土地賃貸契約について、同社の内海社長より値下げの依頼があり、現在の路線価で算出した土地賃貸料の目安等から四役会で協議した結果、覚書によって現行より減額改定し、契約期間を平成29年3月31日までの1年間としたい更新案が説明され、一同了承した。

③労組の2015春季要求に対する回答方針について

藤井専務理事より、労組の今時要求に対する使用者側の各回答方針が提案されるとともに、この理事会で基本的な承認を得た上で、次回の団体交渉で文書提示して交渉にあたりたい旨が説明され、一同了承した。

④セーフティネット基金について

吉田常務理事より、セーフティネット基金の活用について、現時点での方針として、K K S保証ファクタリングによる手形保証を基本としながら、万一に備えた積み立てを行いたい旨が提案され、一同了承した。

※その他

①日水協東北地方支部幹事都市管理者と全管連東北ブロック各県支部長との意見交換会について

藤井専務理事より、4月15日(金)に予定している首題意見交換会で業界側から提案する項目について説明され、一同了承した。

②宮管組合近況報告会の開催について

吉田常務理事より、4月25日(月)午前11時から「パレスへいあん」において、昨年同様、宮管組合の役員経験者に案内して首題報告会を開催したいことが提案され、一同了承した。

③厚生科学審議会生活環境水道部会「水道事業の維持・向上に関する専門委員会」について

吉田常務理事より、厚生労働省の下に新たに設置された首題委員会の委員に、業界を代表して渡辺理事長が選ばれ、3月22日に第1回目の委員会が予定されていることが報告された。

－ 3 月度臨時理事会－

1. 日 時 平成28年3月24日(月)16:00～17:30
2. 場 所 宮城県管工業協同組合 3階 研修室
3. 出席者 理事 渡辺(皓)理事長・内海副理事長・佐竹副理事長・藤井専務理事
吉田常務理事・千葉常務理事・外山理事・菅原理事・渡辺(好)理事
井上理事・赤間理事・松岡理事・本山理事
計13名
事務局 小川扇町本部長・白戸資材部次長・須藤総務部次長・小島工事部次長
千葉総務課長 計5名

4. 議題及び議事経過

①労使交渉の結果について

藤井専務理事より、3月17日に労使交渉のすえ妥結した今年度の労働条件等について報告され、一同了承した。

②平成27年度決算予想と利益処分シミュレーションについて

須藤総務部次長より、平成28年3月末の予想決算について説明され、一同了承した。

次いで吉田常務理事より、セーフティネット基金の積立金額や、全管連第57回総会・全国大会に向けた準備金等について説明され、一同了承した。

また、藤井専務理事より、利用分量割戻し金と剰余金処分案等が説明され、一同了承した。

③東北配管工事業協同組合賛助会員加入について

藤井専務理事より、東北配管工事業協同組合(理事長米山善人)に賛助会員として加入する件について諮られ、協議の結果、加入することで一同了承した。

－ 4 月度理事会－

1. 日 時 平成28年4月21日(木)15:00～17:30
2. 場 所 宮城県管工業協同組合 3階 研修室
3. 出席者 理事 渡辺(皓)理事長・内海副理事長・佐竹副理事長・藤井専務理事
吉田常務理事・千葉常務理事・外山理事・菅原理事・小林理事
渡辺(好)理事・井上理事・本山理事 計12名
監 事 武田監事・中野監事・中鉢監事 計3名
事務局 小川扇町本部長・白戸資材部次長・須藤総務部次長・小島工事部次長
千葉総務課長 計5名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

吉田常務理事より、組合の3月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川本部長より資材と工事の各共同事業について、それぞれ3月度の実績を含む平成27年度の年間実績（累計）と前年比及び予算比について報告され、一同了承した。

③決算棚卸し（在庫）報告

小川本部長より、年度末の資材部商品並びに工事部材料の在庫量が報告され、一同了承した。

④総務・厚生委員会報告

菅原総務・厚生委員長より、平成27年度内の組合員加入脱退について報告した旨、平成28年度通常総会の予定議案及び役員改選に伴う選挙管理委員の件、安全大会の実施計画等についてそれぞれ協議した内容が報告され、一同了承した。

⑤資材委員会報告

小林資材委員長より、平成28年2月分迄の資材販売実績と資材利用組合員謝恩企画について報告した旨、次いで平成28年度資材展示会について協議した結果、実施する方針としたこと、また、理事長より諮問された組合員の資材利用促進について協議した内容が報告され、一同了承した。

⑥仙台市指定給水装置工事業者の新規指定並びに仙台市公認排水設備工事業者の新規承認について

小島工事部次長より、仙台市指定給水装置工事業者は平成27年12月から平成28年3月末までに新規指定が12社、廃止が3社あり、3月末現在583社になっていること、次に仙台市公認排水設備工事業者は平成28年4月1日付で新規承認が6社、承認取消が1社あり、同日現在で合計408社になっていることが報告され、一同了承した。

⑦仙台市水道修繕受付センター業務委託（その2）の見積入札及び委託契約の締結について

小島工事部次長より、平成28年4月1日付で仙台市水道事業管理者と委託契約を締結した首題業務の内容と従事組合員、及び業務委託料（単価）と共通費等について説明され、一同了承した。

⑧配水管及び給水装置修繕工事の見積入札及び工事請負契約の締結について

小島工事部次長より、平成28年度官公需共同受注事業として取り組む首題工事について、共同受注委員会並びに官公需共同受注事業企画・調整委員会の承認内容に基づいて入札参加し、平成28年4月1日付で契約を締結したことが報告され、次いで、その配分や共通費等について協議した内容が説明され、一同了承した。

⑨平成28年度備蓄倉庫賃貸借契約の締結について

須藤総務部次長より、首題の件について、第2倉庫を前年同様の条件で、仙台市水道事業管理者と平成28年4月1日付で賃貸契約した旨が報告され、一同了承した。

⑩組合員の脱退について

須藤総務部次長より、(有)朴沢製作所より提出された自由脱退の予告書について報告され、一同了承した。

※協議事項

①平成27年度決算見込みについて（総会第1号議案関係）

②平成28年度収支予算案について（総会第2号議案関係）

須藤総務部次長より、平成28年度通常総会に諮る首題の件について、財産目録、貸借対照表、損益計算書等により平成27年度の決算内容と剰余金処分案等が説明され、次いで平成28年度の予算案について提案され、一同了承した。

③平成28年度通常総会提出議案内容について（総会第3号議案以降）

吉田常務理事より、総会に提案する第3号以降の、各議案内容について説明され、一同了承した。

※その他

①日水協東北地方支部幹事都市管理者と全管連東北ブロック各県支部長との意見交換会報告

藤井専務理事より、今年度と昨年度の首題意見交換会の内容が報告され、一同了承した。

②平成28年度水道施設整備費に係る歩掛表（GX形管の掘削幅等）の改定について

藤井専務理事より、平成28年4月11日付文書で全管連より通知された厚生労働省の首題改定内容について、GX形管の掘削幅と接合作業幅が改定され、同年4月1日に遡って適用されることが報告され、一同了承した。

③全管連第57回通常総会・全国大会（岩手大会）の諸準備状況について

藤井専務理事より、平成29年7月12日に開催が予定されている首題大会の準備状況等について説明され、一同了承した。

④熊本地震について

藤井専務理事より、熊本地震に関する情報、現段階では組合に応急復旧の派遣要請はないこと、今後、全管連として義援金を募る予定であることが伝えられ、一同了承した。

⑤建設業における安全優良職長厚生労働大臣顕彰について

千葉総務課長より、首題の件について、今後とも該当者がいる場合は積極的に推薦して欲しい旨が説明された。

－ 4 月度臨時役員会－

- | | |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 平成28年4月26日(火)15:00～16:30 |
| 2. 場 所 | 宮城県管工業協同組合 3階 研修室 |
| 3. 出席者 | 理 事 渡辺（皓）理事長・内海副理事長・佐竹副理事長・藤井専務理事
吉田常務理事・千葉常務理事・外山理事・菅原理事・小林理事
渡辺（好）理事・井上理事・赤間理事・松岡理事・本山理事 計14名
監 事 武田監事・中鉢監事 計2名
事務局 小川扇町本部長・白戸資材部次長・須藤総務部次長・千葉総務課長 計4名 |

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①第4・四半期監査報告

武田監事より、4月22日(金)に行った平成27年度第4・四半期(決算)監査の結果、正確に処理されている旨が報告され、一同了承した。

②嘱託員の雇用延長について

藤井専務理事より、工事部調整課付嘱託員の嘱託契約期間が満了となることから、向こう1年間の延長について諮られ、同条件で雇用延長することとし、一同了承した。

※協議事項

①平成28年度通常総会について

- ・議案書の決定について
- ・総会・表彰式・懇親会等について

吉田常務理事より、総会議案書の原稿構成と内容、総会、表彰式、懇親会の各次第等について説明され、一同了承した。

※その他

①熊本地震被災地水道施設の応急復旧班派遣について

藤井専務理事より、4月24日(日)に日水協から同東北地方支部を与る仙台市水道局に対し、熊本地震被災地の水道施設応急復旧班2班の派遣要請があり、同日、仙台市水道局から当組合に対し、復旧作業班2班の出動要請があったこと、水工会の協力を得て、中央管工業(株)と渡辺建設工業(株)の2社(2班)を派遣することとし、組合からは小島工事部次長が帯同し、本日(4月26日)出発したこと等が報告され、一同了承した。

新発売!

わずか40mm角柱! スタイリッシュなNewデザイン。
エクステリアの次世代型不凍水栓柱、選べる14色!

デザイン不凍水栓柱 *Ice Rouge* アイスルージュ

株式会社 **外村製作所** 仙台支店

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5-9-18 TEL 022-238-9110 FAX 022-238-9290

オプションで「花ハンドル」の蛇口に取り替えられます

ライフラインを支える使命

人々の暮らしを守る技術がマエザワにあります。



前澤工業株式会社

東北支店

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号 TEL (022)298-7611

www.maezawa.co.jp

国税だより

株式・配当・利子と税



株を売ったのですが、税金はどうなりますか？



株式等譲渡益課税制度

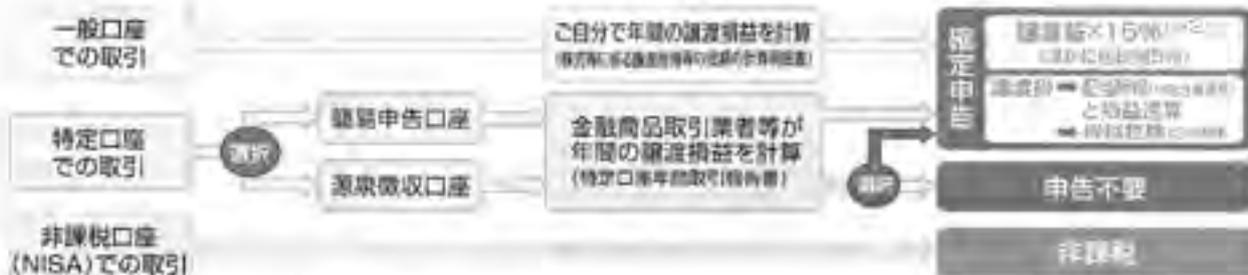
株式等の譲渡益は、原則として確定申告が必要となりますが、金融商品取引業者等のような口座で取引したかによって手続が異なります。

- 株式等を売却し、譲渡益が発生した場合は、原則として確定申告が必要であり、他の所得と区分して税額を計算します。
- 金融商品取引業者等を通じた上場株式等の取引には、「一般口座」、「特定口座」及び「非課税口座(NISA)」での取引があります。

→P24「非課税口座内の少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の課税の特例(NISA)」参照

特定口座

- 金融商品取引業者等に特定口座を開設している場合は、この特定口座での取引については、源泉徴収口座が簡易申告口座を選択することができます。
- 源泉徴収口座の場合は、その口座内における譲渡益については、申告不要とすることができます。
- 簡易申告口座の場合は、金融商品取引業者等から送付される特定口座年間取引報告書により簡易に申告することができます。



● 株式等の譲渡益に係る所得税額(住民税額)の計算方法

$$\text{譲渡価額} - (\text{取得費} \text{※1}) + \text{譲渡費用} = \text{譲渡所得等の金額(譲渡益)}$$

$$\text{譲渡所得等の金額(譲渡益)} \times \text{所得税} 15\% (\text{ほかに住民税} 5\%) = \text{所得税額} \text{※2} (\text{住民税額})$$

※1 2年以上にわたって取得した同一銘柄の株式等を売却した場合には、年平均法に準ずる方法によって算出した1単位当たりの金額を基として計算します。
 ※2 確定申告や源泉徴収の際には、所得税のほか復興特別所得税(原則として所得税額の2.1%)が課税されます。

上場株式等の譲渡損失の損益通算及び繰越控除

- 平成24年以後の年分において、上場株式等を金融商品取引業者等を通じて売却したことにより生じた損失の金額は、確定申告により、その年分の上場株式等に係る配当所得の金額(申告分離課税を選択したものに限り、以下同じです。)と損益通算ができます。また、損益通算してもなお控除しきれない損失の金額については、翌年以後3年間にわたり、確定申告により株式等に係る譲渡所得等の金額及び上場株式等に係る配当所得の金額から繰越控除できます。
- 損益通算をするためには、その適用をしようとする年分の確定申告書に、損益通算の適用をしようとする旨を記載し、かつ、一定の書類を添付する必要があります。
- また、繰越控除をするためには、譲渡損失の金額が生じた年分に一定の書類を添付した確定申告書提出するとともに、その後の年において、連続して一定の書類を添付した確定申告書提出する必要があります。
- 源泉徴収口座に上場株式等の配当等を受け入れた場合は、確定申告せずに同一口座内の譲渡損失の金額と損益通算することもできます。



非課税口座内の少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税措置(NISA)

●NISAは、非課税口座を開設する年の1月1日現在で20歳以上の方を対象として、平成26年から平成35年までの間に、年間100万円を上限として非課税口座で取得した上場株式等の配当等(非課税口座を開設する金融商品取引業者等を経由して交付されるものに限ります。)やその上場株式等を売却したことにより生じた譲渡益が最長5年間非課税となる制度です。

●非課税口座で取得した上場株式等を売却したことにより生じた損失はないものとみなされます。
●非課税措置を受けるためには、金融商品取引業者等に「非課税適用確認書の交付申請書」、「非課税口座開設届出書」、「住民票の写し」などの書類を提出して、非課税口座を開けし、非課税管理設定を設定する必要があります。

国外転出時課税制度

●平成27年7月1日以後、国外転出をする時に所有している有価証券等や国庫又は租税により非居住者に転じた有価証券等の含み益に対し、一定の場合に、所得税及び復興特別所得税が課税されます。なお、納税猶予制度や税額を控除するなどの措置を受ける場合は、国外転出までに納税管理人の届出書を提出するなど一定の手続きが必要となりますので、詳しくは、国税庁ホームページでご確認ください。

「利息や配当は、申告しなくてもいいと聞いたのですが…」



利息・配当等の課税関係

利息所得は申告不要です。配当所得は確定申告をすることが原則ですが、上場株式等の配当等一定のものは確定申告不要制度を選択することができます。

① 預貯金等の利息等に対する税金

●利息所得に20.315%(所得税及び復興特別所得税15.315%、住民税5%)の税率を掛けた金額が源泉徴収され、それだけで納税が完結する源泉分離課税の対象となり申告は不要です。

注)源泉徴収された利息等のうち、国内で源泉徴収されたものは20%の税率が適用され、

② 株式等の配当等に対する税金(平成27年分)

●株式等の配当等の区分に応じ、配当等の収入に以下の税率を掛けた金額が源泉徴収されます。

＜イ＞上場株式等の配当等

20.315%(所得税及び復興特別所得税15.315%、住民税5%)の税率

注)大口株主(発行済株式総数の3%以上を所有)の場合は10%に低減します。

＜ロ＞上場株式等以外の配当等

20.42%(所得税及び復興特別所得税のみ)の税率

●配当所得は、原則として確定申告が必要となりますが、一定のものは、確定申告不要制度を選択することができます。

＜イ＞確定申告

・総合課税

配当所得とその他の所得を合計して総所得金額を求め、確定申告によって源泉徴収されている所得税及び復興特別所得税を精算します。その際、配当控除を適用することができます。

・申告分離課税

上場株式等の配当等については、申告分離課税を選択することができます。申告分離課税を選択した場合、税率は所得税15%(ほか住民税5%)になります。ただし、配当控除の適用はありません。また、上場株式等の譲渡損失と損益通算することができます。

注1)所得税と併せて基準所得控除(所得控除)から、所得控除から差し引かれる金額を差し引いた後の金額に21%を掛けて計算した復興特別所得税がかかります。

注2)申告する上場株式等の配当等の全てについて申告分離課税とするか、全てについて申告分離課税とするかのいずれかを選択する必要があります。

注3)源泉徴収口座に上場株式等の配当等を受け入れた場合は、源泉徴収された同一口座内の譲渡損失の金額と損益通算することができます。

＜ロ＞確定申告不要制度

株式等の区分に応じ、次の場合は申告不要とすることができます。

-上場株式等の配当等

大口株主以外の者が受け取る配当等の場合

・上場株式等以外の配当等

1銘柄について1回に支払を受けるべき配当等の金額が、次により計算した金額以下である少額配当等の場合

10万円×配当計算期間の月数(最高12か月)÷12

注1)「配当計算期間」とは、その配当等の最初の支払に係る基準日の翌日から、その配当等の支払に係る基準日までの期間をいいます。

注2)住民税は、所得税において確定申告で申告する必要がある少額配当等についても、他の所得と併せて課税されます。詳しくは、お住まいの市区町村の窓口にお尋ねください。

③ 金融類似商品の収益に対する税金

収益に20.315%(所得税及び復興特別所得税15.315%、住民税5%)の税率を掛けた金額が源泉徴収され、それだけで納税が完結する源泉分離課税の対象となり申告は不要です。

(対象となる金融類似商品)

①信用金庫などでの定期積金の給付積立金

②銀行法第2条第4項の契約に基づく給付増進金

③一定の振替証券に基づいて締結された契約により支払われる利息

④貴金属などの販売し、付帯する収益(例えば、金投資口座の利益など)

⑤外貨建て預金で、その元本と利息をあらかじめ定められた利率に対し円又は他の外貨に換算して支払う換算利益

⑥一時払養老保険や一時払傷害保険などの収益

注)対象となるのは、償還や元金の期間が5年以下のもの、又は償還や元金の期間が5年を超えてもその期間の経過が5年以内に終了したものの収益です。

④ 割引債の償還差益に対する税金

●特定の割引債の償還差益については、割引債を発行するときに券面金額と発行金額との差額について18.378%(所得税及び復興特別所得税のみ)の税率を掛けた金額が源泉徴収され、それだけで納税が完結する源泉分離課税の対象となり申告は不要です。

(対象となる割引債)

割引の方法により発行される次の公社債のうち、一定のものが対象となります。

①国債、地方債

②外国法人が発行する社債

③外国法人が発行する一定の債券

なお、次の割引債の償還差益については、税率が16.326%(所得税及び復興特別所得税のみ)とされています。

④東京湾横断道路株式会社法による規定によって発行する社債

⑤民間都市開発推進機構が法令の規定によって発行する債券

●宅地債や特別住宅債などの割引債の償還差益は、課税所得として総合課税の対象となります。

●平成28年1月から制度が変わります。

●国債、地方債などの一定の公社債の利息や譲渡益が申告分離課税の対象となり、特定口座への受入れができるようになります。

●非課税口座内の少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税措置(NISA)の非課税投資額の上限が年間100万円から年間120万円に引き上げられます。

●未成年者口座内の少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税措置(ジュニアNISA)が創設され、未成年者口座の開設の申込み(ただし、未成年者口座への上場株式等の受入れは平成28年4月から開始)ができるようになります。

健康だより

あなたは大丈夫？ お口の健康チェック



お口のセルフチェック

- 朝起きたとき、口の中が粘ついたり変な味がする
- 口の臭いが気になる
- 歯を磨くとき、歯ぐきから出血しやすくなった
- 歯ぐきが腫れたり、ムズがゆい
- 歯と歯の間に食べかすがはさまりやすくなった
- 冷たいものや熱いものが歯にしみる
- あまり歯を磨かない
- 歯磨きは短時間でゴシゴシ磨く
- たばこを吸っている
- 糖尿病と言われたことがある

あてはまる項目が多いほど、歯周疾患にかかっている可能性が高まります。一度歯科医院で診てもらいましょう。



歯周病とは・・・

歯周病とは、歯を支える周りの組織に、食べかすなどの汚れが残り、細菌に感染して起こる病気です。また、歯周病は全身の疾患とも関係があり、糖尿病や高血圧によっても悪化することがあります。

35～44歳の人で85%、45～54歳の人では90%の人が歯周病にかかっています。最近では、食生活の変化や生活環境の変化によって、若年者にも歯周病が広がっています。



歯周病予防のために

①丁寧な歯磨きの習慣をつけましょう

毎日の歯磨きで、歯ブラシや歯間ブラシ等を使って、歯垢（プラーク）を丁寧に除去しましょう。

②よく噛んで食べましょう

食べ物をよく噛むことで、唾液の分泌が促進され、細菌を洗い流します。また歯周組織が活性化します。

③禁煙に努めましょう

たばこは細菌に対する抵抗力を低下させ、歯周病の発症・進行を早めます。禁煙に努めましょう。

④かかりつけの歯医者さんを持ちましょう

定期的に歯科健診を受けましょう。また、自分では除去しきれない歯垢を取ってもらい、歯周病を予防しましょう。

お問い合わせ 宮城県登米保健所 TEL.0220-22-0117 ☆学びゲーシオンバックナンバーもご利用ください☆
【リンク】

宮城県健康推進課 HP「宮城県の歯科保健」<http://www.pref.miyagi.jp/kensui/Keika/sikahoken.html>

当所 HP「働く人の健康づくり情報ガイド」<http://www.pref.miyagi.jp/ot-rmbwf/hatarakuhito/guide-top.htm>

広瀬川に架かる橋を訪ねて

平成25年新春号の“みやかん”から、広瀬川に架かる橋をご紹介します。

広瀬川は、仙台市青葉区の関山峠付近を源流に仙台市内のみを流れ若林区日辺で名取川と合流します。幹川延長が45.2km、(生活用の小さい橋を除き)44本の橋が架けられています。

なりあい 鳴合橋

鳴合橋は、仙台市青葉区芋沢と青葉区上愛子を結ぶ橋で、昭和42(1967)年に完成し、長さ63.2メートル、幅員4.2メートルです。車が2台すれ違うことが出来ない狭い橋ですが、すぐ近くに拡張された橋が架けられています。新しい橋は、長さ157メートル、幅9.57メートルで、平成28(2016)年8月末に供用開始予定です。

橋の下の辺りは「鳴合峡谷」と呼ばれ、鳴合橋から見る風景の美しさ、断崖・奇石(七つ石：相逢石、松茸石、鞍掛石、臥牛石、起駒石、角鴟石、畳石)・川の流れる様子が格別だといわれています。

この鳴合の名は、上流にダム等のなかった昔は、現在より水量が多かったと考えられ、この兩岸の崖が激しく浸食されている様子から、水の音がガーン・ザブーン等と響いていた(水が鳴っていた)と考えられこの名が付いたそうです。

橋の近くには、芋沢側に鳴合温泉旅館河鹿荘(平成24年3月に閉鎖)、西仙台病院、上愛子側には宮城広瀬体育館・温水プール・運動場・テニスコートがあります。



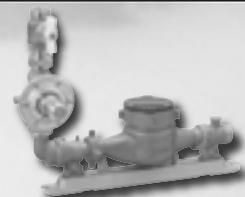
[写真撮影：(有)星川工業所 星川 猛 氏]

集合住宅パイプシャフト用

X-タユニット

特許出願中

- 1 製品をさらに軽量化!!
- 2 環境負荷の低減!!
- 3 メンテナンス性の向上!!



『水』の『安心』『安全』をお届けしています。

株式会社 タブチ

<本社 / 工場> 〒547-0023 大阪市平野区瓜破南 2-1
TEL 06-6708-0150 (代) FAX 06-6708-0210

商品のお問合せは

0120-481-130

<支店 / 営業所> 札幌・盛岡・仙台・北関東・新潟・千葉・土浦・さいたま・多摩
東京・横浜・静岡・金沢・名古屋・大阪・神戸・岡山・広島・福岡・南九州・沖縄

ホームページは
こちら▼



編集歳時記

(2016年初夏号No.467)

いつも『みやかん』をご愛読いただきまして、ありがとうございます。

今回、改めて専務理事をおおせつかりました藤井です。

本号に記事も掲載されておりますが、5月20日に今年度の総会を開催いたしました。今回は役員のご改選期に当たり、慌しい総会運営となりましたが、皆様にご協力いただきましたお陰で、無事終了いたしました。この誌面をお借りしまして篤くお礼申し上げます。選任されました役員一同、2年間の任期中、力を尽くして業務遂行に当たりますので今後もよろしくお願いいたします。

これからの2年間には、宮管組合として大きな行事を2つ予定しています。いずれも平成29年度なのですが、その第一は、組合創立70周年を迎える事です。記念式典や祝賀会の他にも、記念誌の発行やその他の事業も考えており、皆様には、是非様々な分野でご協力いただけますようお願いいたします。

2つ目の行事は、全国管工事業協同組合連合会の総会を、この東北地方で開催する事です。会場は花巻市で、岩手県の組合が主体となって運営に当たりますが、東北ブロックとして宮管がその責任の多くを担う事になります。これまでの例ですと、全国から7～8百名の会員が一堂に会し、議論と親睦を深めるのですが、その人数からいっても、お世話には大変な気遣いと労力を求められます。非常に大きな負担にも見えますが、東北地方の力量の見せ所でもありますし、また、東日本大震災被災地の復興の現状をお知らせできる良い機会とも思いますので、何かそのような企画も取り入れられないものかと考えております。

また、今回の総会では、黒字の決算のご報告が出来ましたし、組合をご利用いただいた皆様には、利用分量割戻しを行う事も決定しました。これは、ひとえに皆様が組合の事業を御理解の上ご協力いただいている賜物で、改めてお礼申し上げます。

ただ、業界の今後の状況は、必ずしも楽観的な観測を許すほど甘くはないと思います。総会においても、万が一の事態に対応するため、セーフティーネット基金の立ち上げについてご了承いただきましたが、その運営も含め、厳しい経営環境の中、組合員企業の皆様方と宮管組合の健全な経営と発展のため、役職員一同業務に励んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

宮城県管工業協同組合
専務理事 藤井 秀男



用途に合わせて選べる TAK の水道管シリーズ

製造、販売

- ステンレスプレファブ鋼管
- 硬質塩化ビニルライニング鋼管
- 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ポリエチレン粉体ライニング鋼管
- ナイロンコーティング鋼管
- 鋼管プレファブ管
- 水輸送用塗覆装鋼管
- 水道用ポリウレタン塗覆装鋼管
- 集合住宅給水システム
- 銅管継手・銅製プレファブ管
- 伸縮可撓継手
- スネークジョイント
- フッ素樹脂ライニング鋼管
- 特殊ダクト

株式会社 **多久製作所** 本社 〒577-0012 大阪府東大阪市長田東2丁目2番1号 木村第一ビル TEL.(06)6746-4620 FAX.(06)6744-6052
仙台営業所 〒984-0031 宮城県仙台市若林区六丁目字左近堀10番1 TEL.(022)288-2161 FAX.(022)288-2164

<http://www.tak-ss.co.jp/>

諺・漢字コーナー【解答】

一. 1. おっくう 2. おかんむり 3. いらいら 4. そうかい 5. きんき

二. 1. 濃厚 2. 農耕 3. 農工 4. 陶然 5. 当然

三. 大義名分 (たいぎめいぶん)

人として臣民として守るべき節義と名分。例：「大義名分をふりかざす」

速戦即決 (そくせんそっけつ)

持久戦を避けて、一気に勝敗を決すること。



ASAHI YUKIZAI
BASIC DESIGN ELEMENT

旭有機材株式会社 仙台営業所
仙台市青葉区二日町12番地30号
仙台勾当台西ビル2F
tel022-213-3911 fax022-213-3912

薬液飛散防止と環境保全対策に
ASAHI AV 二重管がお応えします。
二重管・継手 (特許第4817953号)

人々の暮らしに欠かせないインフラを支えている誇り。
水道用ゴム輪・フランジパッキン・ポリエチレンスリーブ・サンエコシート・埋設シート・管明示テープ・ロケティングワイヤー



水道用ゴム輪 フランジパッキン ポリスリーブ 溶剤浸透防護スリーブ 埋設シート 管明示テープ

日本水道協会第1種検査工場 ISO9001:2008 (本社・滋賀工場) ISO14001:2004 (滋賀工場) 認証取得

サンエス護謨工業株式会社 仙台支店
〒984-0031 宮城県仙台市若林区六丁目字柳堀 2-1
TEL 022-287-2601 FAX 022-287-5383

SEKISUI

カチツとワンタッチ接続。

■架橋ポリエチレン管・ポリブテン管用ワンタッチ継手

エスロン® エスロカチツト

積水化学工業株式会社

環境・ライフラインカンパニー 東北支店 設備システム営業所 建築設備グループ

〒980-6010 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル10F) TEL:022(217)0608



日立密閉形隔膜式膨張タンク

耐震強度大幅アップ(第二種圧力容器構造規格品)

設計水平震度1.5G標準化(ケミカル又は埋込式J形アンカーボルト使用時)

空調・給湯用膨張タンク機種統一

機種一新



日立金属株式会社 北日本支店 <http://www.hitachi-metals.co.jp>

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央一丁目6番35号(東京建物仙台ビル) ☎(022)267-0216 FAX(022)266-7891

HITACHI



日本鑄鉄管株式會社

本社/工場	〒346-0193	埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼一番地	TEL(0480)85-1101(代)
東京事務所	〒104-0045	東京都中央区築地二丁目12番10号	TEL(03)3546-7671
東北支社	〒980-0014	仙台市青葉区本町三丁目5番22号	TEL(022)263-2731

編集・発行

宮城県管工業協同組合 第42期 広報委員会

委員長	外山佳嗣	(仙台ガス水道工業(株) 取締役会長)
副委員長	赤間勇一郎	(株)赤間総業 代表取締役社長)
委員	鈴木史郎	(株)新東設備工業 代表取締役社長)
委員	阿部祐光	(宮春工業(株) 代表取締役社長)
委員	遠藤義郎	(株)丸浩設備工業 代表取締役社長)
委員	坪田達映	(坪田工業(株) 代表取締役社長)
委員	上野隆士	(ウエノ設備(株) 代表取締役社長)

専務理事	藤井秀男
常務理事	吉田秀之